



なantan

お も な 内 容

- 2 平成18年度南丹市予算
- 6 南丹っ子の卒業式・卒園式
- 10 行政トピックス／サイパン島青少年団との交流 他
- 14 各委員の紹介／人事異動のお知らせ
- 16 いきいき南丹「お元気ですか？栄養士です。」
- 17 ぶらりなんたん～南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」～
- 18 みんなのひろば～手作りお弁当コンテスト 他
- 20 なんたん歳時記～子どもみこし巡行～・わが家のアイドル



「風船いっぱい！とんでいけー」

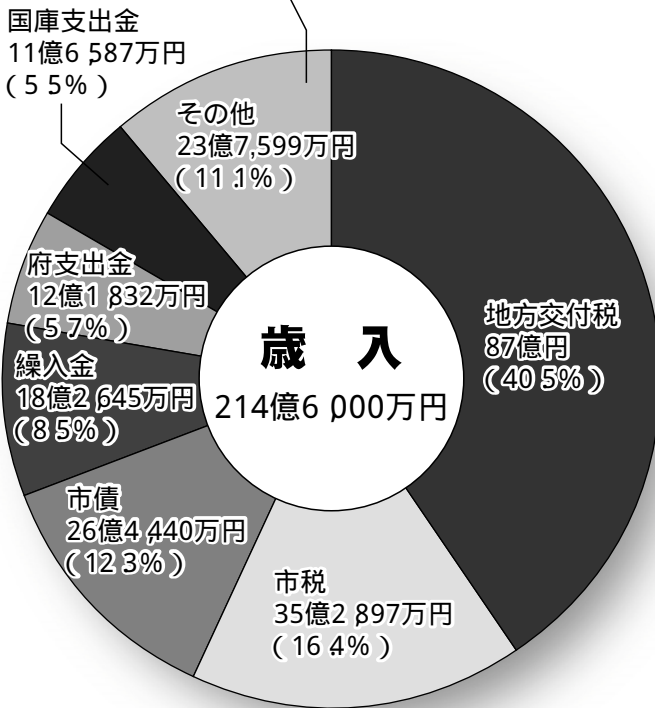
—4/13 交通事故防止の願いを込めて（みやま保育所）—

新市のまちづくり

6 000万円スタート

歳入の財源別内訳

地方譲与税	2.3%	交通安全対策特別交付金	0.0%
利子割交付金	0.1%	分担金及び負担金	0.7%
配当割交付金	0.1%	使用料及び手数料	1.3%
株式等譲渡所得割交付金	0.0%	財産収入	0.0%
地方消費税交付金	1.7%	寄附金	0.0%
ゴルフ場利用税交付金	0.1%	繰越金	0.9%
自動車取得税交付金	0.7%	雑収入	2.8%
地方特例交付金	0.4%		

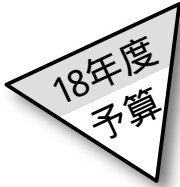


まちづくりの基本となる平成十八年度の一般会計、特別会計の当初予算が決まりました。新年度の当初予算は、市長選挙直後の編成となったため、新規事業の予算計上を抑えた義務的経費中心の骨格型予算となりましたが、旧四町の歴史・伝統・文化等を尊重しながら新たなまちづくりを進める内容となっています。新規事業や投資的事業の一部については、今後の補正予算で肉付けすることになります。

新市建設へ始動

歳入においては、土地・家屋の評価替えに伴う固定資産税の減額などにより、自主財源の根幹である市税全体で前年度四町の当初予算合計を下回ると見込んでいます。

また、国の三位一体の改革の中で、国庫補助負担金の見直し、臨時財政対策債の削減などが行われた一方で、合併特例法に基づく国の財政支援措置による地方交付税、合併特例債などの増加を見込んでいますが、一般財源総額は旧町時に引き続き、大きく不足



総予算

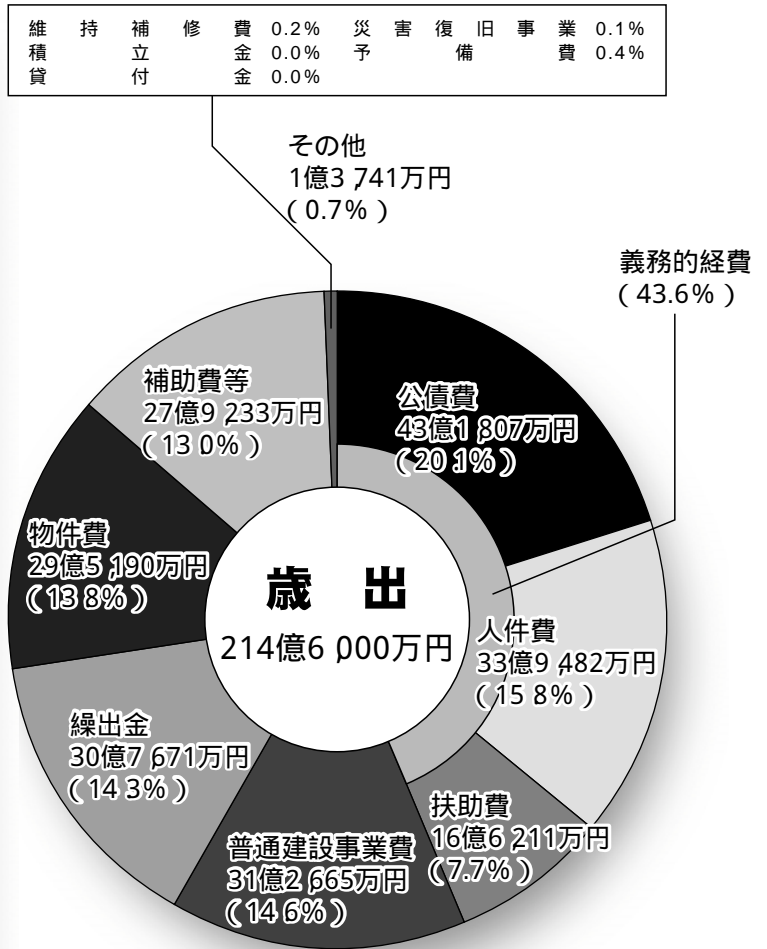
380億8,770万円で

一般会計は214億

18年度予算額の内訳

会計名	予算額	
一般会計	214億6,000万円	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	31億3,800万円
	老人保健事業特別会計	41億9,800万円
	介護保険事業特別会計	27億2,380万円
	市営バス運行事業特別会計	4,560万円
	簡易水道事業特別会計	15億8,250万円
	下水道事業特別会計	35億5,130万円
	商品券事業特別会計	4,180万円
	土地取得事業特別会計	2億30万円
企業会計	上水道事業会計	11億4,640万円
合計	380億8,770万円	

歳出の性質別内訳



歳出においては、旧町時と比べ、特別職や議員、各種委員の減少により人件費など二億一千万円程度が合併効果で削減できる見込みですが、合併協議の調整結果による各種サービス事業の全市拡大や福祉事務所の開設等に伴い福祉関係経費が大幅に増加しています。扶助費や人件費、公債費を合わせた義務的経費が歳出全体の四割を占め、今後も増加する傾向です。

合併協議における合意事項を尊重しながらも、事務事業の見直し、経常事業の歳出の抑制に努めたところですが、一般財源で十二億円の財政調整基金と五億円の減債基金を繰り入れた予算編成となりました。

今後は、より一層の財政の健全化を図りながら、新市のまちづくり事業を展開していきますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

主な事業を紹介します

(○=新規、△=拡充) (単位未満四捨五入)

民生費

老人福祉や障害者福祉・児童福祉
など福祉全般の事務や事業にかか
る費用 40億1,418万円 (18.7%)

福祉医療費支給事業	1億1,715万円
重度心身障害老人健康管理事業	8,213万円
乳幼児医療費助成事業	6,070万円
すこやか子育て医療費助成事業	3,409万円
社会福祉協議会活動助成事業	5,700万円
災害見舞金事業	230万円
地域福祉計画策定事業	475万円
遺児奨学金等支給事業	104万円
居宅生活支援事業	5,189万円
施設訓練等支援事業	2億6,560万円
共同作業所通所訓練費補助事業	4,426万円
小規模通所授産施設訓練費補助事業	5,669万円
障害者福祉計画策定事業	529万円
障害者自立支援利用者負担軽減事業	1,193万円
老人医療費支給事業	8,790万円
高齢者福祉サービス事業(短期入所サービスほか)	3,156万円
介護支援事業(家族介護者慰労金ほか)	3,806万円
敬老祝い事業	1,429万円
次世代育成支援対策事業	492万円
チャイルドシート等購入補助事業	104万円
出産祝金事業	2,042万円
すこやか手当支給事業	5,371万円
入学祝金支給事業	3,267万円
児童手当支給事業	1億5,043万円
児童扶養手当支給事業	7,248万円
保育所管理運営費	1億810万円
生活保護費支給事業	5億1,591万円

議会費

議会運営のためにかかる費用
2億1,768万円 (1.0%)

総務費

全般的なまちづくりのためにかか
る費用 33億9,185万円 (15.8%)

市制刊行物等発行費	230万円
庁舎等施設整備事業	1億6,480万円
総合振興計画策定事業	1,123万円
美山町自然文化村推進事業	1,500万円
地域情報基盤整備事業(美山地域CATV整備)	6億4,000万円
自治振興補助事業	4,000万円
電源立地地域対策補助金事業(カヌー艇庫広場整備)	600万円
バス運行事業(生活路線バス補助、バス委託等)	5,443万円
山陰本線複線化整備事業	5億1,258万円
農業委員会委員選挙執行経費	1,248万円

衛生費

各種検診などの保健衛生や
環境衛生・ごみ処理にかか
る費用 21億8,078万円 (10.1%)

母子保健事業	1,289万円
育児支援事業	928万円
母子栄養強化事業	629万円
各種検診事業	4,077万円
予防接種事業	3,588万円
合併処理浄化槽等設置整備事業	2,688万円
直営診療所管理運営費(美山林健センター診療所)	2,014万円
船井郡衛生管理組合負担金	6億6,432万円
公立南丹病院組合負担金	5億633万円

財政用語解説

評価替え 1

土地・家屋の価格を決定する
ための評価の見直しを行うこ
とで三年ごとに行われます

自主財源 2

市が自主的に収入できる財源
のことで、市税、使用料、手
数料、財産収入、寄附金など
依存財源

国や府の基準に基づき交付さ
れたり、割り当てられたりす
る市の収入で、地方譲与税・
国庫支出金など

投資的経費

その支出の効果が資本形成に
向けられ、施設などの将来に
残るものに支出されるお金

財産収入

各種基金利子、財産を売り払
ったお金

繰入金

各種基金から一般会計へ繰り
入れたお金

諸収入

預金利子や市が融資した貸付
金の返済金など

使用料・手数料

公共施設の使用料、住民票な
どの交付手数料

その他

18年度
予算



一般会計の

農林 水産業費

農業や林業・水産業の振興などに
かかる費用 13億4,904万円(6.3%)

農業振興事業	4,461万円
中山間直接支払事業	7,495万円
土づくり事業(土づくり事業補助金)	730万円
緑資源機構営事業	4億1,540万円
京都府営等事業	2,057万円
土地改良事業	1億3,600万円
有害鳥獣捕獲対策事業(有害鳥獣捕獲報奨金等)	3,502万円
内水面漁業振興対策事業	1,699万円

商工費

商工や観光の振興にかかる
費用 2億2,498万円(1.0%)

経営改善普及事業	2,919万円
商工振興融資利子補給事業	2,034万円
企業支援事業(工場誘致事業奨励金等)	6,649万円

土木費

道路や橋・河川の維持・改良や都市
計画事業、市営住宅の管理などに
かかる費用 31億7,235万円(14.8%)

道路・橋梁維持管理事業	4,770万円
道路除雪事業	2,000万円
道路新設改良事業	3億6,844万円
河川改修事業	9,020万円
土地区画整理事業	1億8,800万円
都市計画街路事業	5,010万円
都市計画公園事業	1億677万円

教育費

小・中学校、幼稚園などの運営や公民
館、図書館、給食施設などの運営にか
かる費用 16億8,538万円(7.9%)

安全対策事業(緊急通報システム整備等)	702万円
学力充実・小人数指導事業	2,353万円
通学対策事業(小・中学校定期券代補助金)	1,144万円
スクールバス運行事業	2,508万円
小・中学校英会話事業	1,143万円
通園バス運行事業(幼稚園)	1,660万円
史誌編さん事業	1,800万円
かやぶき屋根保存修理事業	1,000万円
重要伝統的建物群保存地区保存修理補助事業	1,525万円
埋蔵文化財調査事業	424万円
社会体育振興事業	471万円
学校給食施設管理運営費	7,528万円

消防費

消防施設の整備や消防活動にか
かる費用 7億9,931万円(3.7%)

消防資機材整備事業	1,684万円
防災施設整備事業(府防災行政無線整備事業負担金)	2,300万円
地域防災計画策定事業(地域防災計画・国民保護計画)	900万円

公債費

地方債などの借金返済にかかる
費用 43億1,807万円(20.1%)

その他

労働費、災害復旧費、予備費
など 1億640万円(0.6%)

繰越金や分担金、負担金など
国庫支出金、府支出金
事業を行うための国・府から
の負担金、補助金、委託金
市債
事業を行うために借り入れた
お金
地方交付税 3
国の所得税、法人税、酒税な
どを市の財政需要に応じて一
定の基準に基づき、国から交
付されるお金
人件費 4
市職員給与、市議会議員・各
種委員会報酬など
扶助費 5
法令に基づき被扶助者に対し
てその生活を維持するために
支出される経費で、児童手当、
医療扶助など
公債費 6
事業を行うために借り入れた
お金の償還金
減債基金 7
公債費の償還を計画的に行う
ための資金を積み立てる目的
で設ける基金
普通建設事業費
道路の整備、公共施設などの
建設に要したお金
積立金
各種基金へ積み立てたお金
物件費
消耗品、臨時職員賃金、業務
委託料など

祝

南丹っ子の卒業式・卒園式

南丹市となって初めての卒業式・卒園式が行われ、市内の小学校(18校で337人)、中学校(4校で362人)、幼稚園・保育所(15園で275人)合わせて974人がそれぞれの思い出と新たな希望を胸に巣立っていきました。



園部中学校(3/14 卒業生150人)



殿田中学校(3/14 卒業生63人)



すこやか学園(3/15 卒園児35人)



八木中学校(3/14 卒業生87人)



美山中学校(3/14 卒業生62人)



八木中央幼児学園(3/20 卒園児54人)



園部第二小学校(3/23 卒業生56人)



園部幼稚園(3/17 卒園児57人)



川辺小学校(3/23 卒業生13人)



摩気小学校(3/23 卒業生12人)



西本梅小学校(3/23 卒業生10人)



園部小学校(3/23 卒業生68人)



殿田小学校 3 / 23 卒業生 23人



五ヶ荘小学校(3/23 卒業生2人)



胡麻郷小学校(3/23 卒業生27人)



知井小学校 3 / 23 卒業生 11人



平屋小学校(3/23 卒業生10人)



宮島小学校 3 / 23 卒業生 13人



鶴ヶ岡小学校(3/23 卒業生12人)



大野小学校(3/23 卒業生5人)



吉富小学校(3/23 卒業生7人)



八木小学校(3/23 卒業生24人)



富本小学校(3/23 卒業生27人)



神吉小学校(3/23 卒業生3人)



日吉中央保育所(3/24 卒園児9人)



川辺保育所(3/24 卒園児7人)



胡麻保育所(3/24 卒園児25人)



新庄小学校(3/23 卒業生14人)



園部保育所(3/25 卒園児19人)



興風保育所(3/24 卒園児10人)



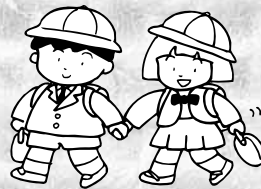
八木東幼児学園(3/25 卒園児6人)



城南保育所(3/25 卒園児26人)



平屋保育所(3/27 卒園児7人)



鶴ヶ岡保育所(3/28 卒園児3人)



みやま保育所(3/28 卒園児5人)



知井保育所(3/27 卒園児7人)



大野保育所(3/28 卒園児5人)

ご卒業・ご卒園おめでとうございます。
これからもさらに飛躍されることを祈ります。



サイパン島

青少年団との交流

滋賀県の寺院三寶^{さんぼう}苑^{えん}の栢木住職が、反戦平和の願いから日本との交流を続けているサイパン島の子どもたち十人とツデラ市長らが、三月十六日南丹市を訪れました。昭和六十二年から毎年この時期に旧

園部町を訪れており、今回で十九回目となります。

一行は、湖池屋園部工場の見学などの後、南丹市国際交流会館のイベントホールで行われた交流会に参加しました。ツデラ市長から子どもたちの

紹介があつた後、園部小学校六年生の犬石雅喜君と十倉恭輔君が、交流会参加者を代表して「サイパン島のみなさんと交流を深め、楽しい思い出を作りたいです」と歓迎のあいさつを行いました。交流会には地元の小・中学生や英会話教室の生徒らおよそ六十



サイパン島青少年団のみなさん



仲良くなって記念撮影



日本の遊びを体験しました

人が集まり、軽食をとりながら、こまや折り紙、けん玉など、日本の遊びを一緒に楽しみました。また、サイパン島の子どもたちからは得意のダンスも披露され、言葉の違いを越えて楽しいひとときを過ごしました。



参加者を代表して歓迎の挨拶

交通指導員研修

四月三日、園部公民館で、南丹市交通指導員研修会を行いました。これは南丹市誕生に伴い、八十人の南丹市交通指導員が委嘱され、今年から新たに交通指導員となる十四人を対象に行ったもので、九人が出席しました。

研修会では、交通指導員としての心構えについて南丹警察署香島交通課長から説明があつた後、実際に横断歩道で歩行者が安全に横断するため



交通指導の研修を受ける交通指導員

地方自治大賞を受賞

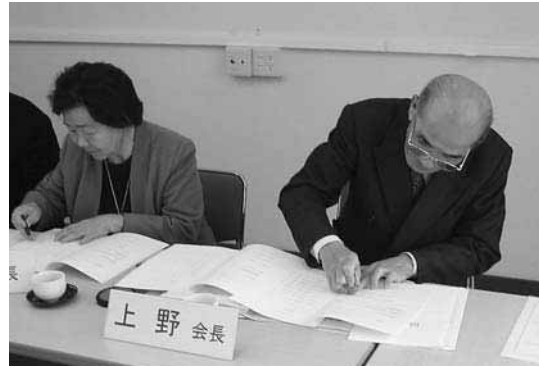


ブロンズ像を受け取る中島参与

地域特性を生かしたアイデアや、幅広い住民参加によって個性豊かな地域づくりを進める市区町村を顕彰する二〇〇五年度「毎日・地方自治大賞」（毎日新聞社主催）の贈呈式が三月十日、東京都千代田区の毎日新聞東京本社で行われ、旧美山町が最優秀賞を受賞しました。「都市との共生をめざす町づくり」として、かやぶき屋根を生かした町並み保存など、多彩な事業を展開しながら、地域の活性化に向けて都市住民の定住を促した取り組みが評価されました。贈呈式には中島参与が出席し、山本進毎日新聞社常務から賞状とブロンズ像が贈られました。

三月七日、南丹市老人クラブ連合会の協定書調印式が南丹市役所で行われました。一月一日の南丹市発足に伴い、園部町・八木町・日吉町・美山町の老人クラブ連合会では合併協議会を設立し検討を重ね、旧四町老人クラブ連合会を包括する連合体を新たに設立すること、合意されました。調印式では、旧四町の会長が「協定書」に署名、押印されるとともに、老人クラブ役員が立会人として一人ずつ署名をされました。

市老人クラブ連合会調印式



協定書に押印する旧四町の会長ら



除雪作業が終わった佐々里峠頂上

三月十五日、南丹市美山町佐々里区と京都市左京区広河原尾花町を結ぶ、府道38号京都広河原美山線「佐々里峠」の、冬季通行止が解除されました。毎年二誠近い降雪のため十二月十五日から翌年三月十五日までは閉鎖されており、除雪作業が終わると通行出来るようになります。通行止が解除された日も前に降った雪が一誠ほど積もったため、除雪作業が行われました。

佐々里峠開通

三月九日、美山中学校駐車場で、南丹市営バス火災避難訓練が行われました。バスからの出火の際に乗客の安全を確保するために行われたもので、バス事務所の職員と美山中学校の生徒約二十人が参加しました。訓練は、市営バス後部からの出火を想定したもので、生徒が園部消防署職員の誘導でバスの非常ドアを開け避難した後、消防署のポンプ車とバスに備え付けてある消火器を使っての消火訓練が行われました。

バス火災避難訓練



非常ドアを開けて避難をする中学生



中高一貫教育がスタート



園部高等学校附属中学校正門

南丹・中丹地域で初の中高一貫教育校となる府立園部高等学校附属中学校（園部町小桜町）で七日、開校式と入学式が行われ、真新しい制服に身を包んだ入学生が、六年間

の学校生活に期待をふくらませ式に出席しました。

「大きく高い志をもって自己実現を目指す人間、知性と創造性に富んだ人間を育てる」を基本理念とした附属中学校の栄えある第一期生として入学したのは、亀岡市、南丹市、福知山市、綾部市と京丹波町からの、男子十三人、女子二十七人です。

式には、京都府教育委員会の田原博明教育長や南丹市の國府正典市長職務代理者、園部高校の生徒代表らも出席し、新しい歴史を歩み出した附属中学校の門出を祝いました。式では田原教育長による開校宣言に続き、中村俊孝校長が新入生を激励されました。また、新入生を代表して西村梢さんが「新たな出会いを大切に、自分の目標に向かって一歩一歩進みたい」と決意を述べられました。

三月十一日、南丹市国際交流会館イベントホールで「南丹市民生児童委員協議会設立総会」が行われました。南丹市民生児童委員協議会は、旧四町の協議会が合併したもので、委員は百十八人となりました。

総会では、協議会役員の出が行われ、会長に中川晃さん（八木町）が互選された後、協議会規約などが委員によって承認され、民生児童委員活動の充実を図るとともに、地域福祉の増進に寄与することを誓いました。



講演をされる間助教授

民児協設立総会

消防団入退団式

南丹市消防団は、四月一日に美山支団と日吉支団、二日に八木支団と園部支団で入退団式を行いました。新入団員は園部支団十六人、八木支団十八人、日吉支団十一人、美山支団十六人の計六十一人でした。

このうち日吉支団では、新入団員を代表して法谷道哉団員が「良心に従って忠実に消防の義務を遂行することを厳粛に誓います」と力強く宣誓しました。



宣誓する法谷道哉団員

第51回青少年読書感想文府コンクールで知事賞

南丹市立園部小学校4年 水口 千星さん



第五十一回青少年

読書感想文府コンク

ール（府学校図書館

協議会主催）で、園

部小学校四年生（受

賞当時三年生）の水

口千星さんがみごと

京都府知事賞に輝き

ました。同コンクールには小中高六百十六校、一万九千八百

三十八人の応募があり、千星さんの作品『おおむし けむ

し』を読んで、など合計五点が知事賞に選ばれました。

「おおむし けむし」を読んで

園部小学校四年 水口 千星

自ぜんを大切にしておじい お虫になるのかなと思って、
ちゃんのをくらし方を知って、 楽しみになりました。 おばあ
おばあちゃんを思い出しまし ちゃんも、おお虫のたまごを
た。 とらずにそのまま、そつと見

私のおばあちゃんは、やさ まもっていました。 そんな時
いをそだてていて、野さいに わたしが学校から、マリーゴ
やさしく話しかけたり野さい ルドのたねを、もってかえ
のまわりにある自ぜんにやさ つてきた時に、おばあちゃん
しくしたりすると、もすてき が、「ほしい」と言つので、わ
なおばあちゃんです。 おばあ けを聞くと、「やさいにおお虫
ちゃんの畑におおむしのたま がくるとぜんぶ食べられるの
ごがありました。 おばあちゃ で、マリーゴルドをそだて
んの畑にいたおお虫はブロッ ていると、マリーゴルドの
コリーの葉っぱのうらに、見 においをいやがって、おお虫
つからないようにそつとくっ がよつてこないんだよ」と教
つていました。 もうすぐあ えてくれました。

野さいも育つて、青虫も近
づいてこないから、マリーゴ
ールドはすこいと思ひました。
おじいちゃんが、女の子に
教えてあげていたように虫た
ちもすきな食べ物はつきり
していることがこのことでも
よく分かりました。

おお虫は、えさになるキャ
ベツの色と同じです。虫たち
は、こんなふうに見つかりに
くいように体の色と、生みつ
けた葉っぱの色がにているの
ではないのかなと思ひました。
小さな虫たちが生きていく
知えだと思ひました。

本と同じようにおお虫をビ
ンセットでつまむと、「くるり」
と丸まって地面に転げて落ち
ていくおお虫を見ました。う
まく転げ落ちて草の中にまぎ
れこんで見えなくなりました。
また、自ぜんにまもられて、
虫がにげてしまったように思
ひました。
わたしのおばあちゃんの畑
にも、いろいろな虫がやって
きます。おばあちゃんの畑で
は、消どくをしてない新せん
な野さいが育っています。人
の体にもやさしく、そしてお
いしいやさいを作っています。
もし消どくをした野さいを虫
が食べていたら畑にやつてき
た虫は、元気に生きられたか
どうか分かりません。わたし
のおばあちゃんは、おじいち
やんと同じで自ぜんのことを
考えていると思ひました。
やさしいおばあちゃんの気
もちが、畑にはつまっている
ので虫たちもやつてくるのだ
と思ひます。虫たちも自ぜん
の中で生き生きと生きていけ
ることは、人間も元気に生き
ていけることにつながつてい
るように思ひました。
自ぜんの中で生きてきた生
き物たちが、生きていける自
ぜんをまもるっていうことは、
人間にとつても生きていく大
切なことだとわたしは、思い
ました。自ぜんを大切にしてい
るわたしの、じまんのおば
あちゃんや、虫にやさしいお
じいちゃんから教えてもらつ
たことは、わたしのたからで
す。みんなの元気のもとには、
自ぜんだと思ひました。

固定資産評価審査委員会委員・ 公平委員会委員・教育委員会委員・ 農業委員会委員・監査委員・ 選挙管理委員会委員 を選任

委員のみなさんにはお世話になりますがよろしくお願ひします。(順不同、敬称略)

監査委員

委員 | 川西 通夫(園部町・宮町)

選挙管理委員会委員

委員長 | 東野 武夫(園部町・熊崎)
職務代理者 | 中田 繁男(美山町・野添)
委員 | 水口 晋(八木町・西田)
委員 | 田中 貞雄(日吉町・保野田)

選挙管理委員会補充員

委員 | 奥村 久夫(園部町・殿谷)
委員 | 波部 宏(八木町・八木)
委員 | 山田 稔(日吉町・田原)
委員 | 市原 照三(美山町・高野)

固定資産評価審査委員会委員

委員長 | 湯浅 保(日吉町・木住)
職務代理者 | 吉田 史樹(園部町・若松町)
委員 | 白井 八郎(八木町・池ノ内)
委員 | 上田 武司(美山町・静原)

公平委員会委員

委員長 | 大棚 俊二(美山町・三埜)
委員 | 八田 敦子(八木町・八木)
委員 | 船越 廣子(日吉町・志和賀)

教育委員会委員

委員長 | 勝田 正巳(日吉町・胡麻)
職務代理者 | 木村 光一(美山町・豊郷)
委員 | 奥村 功(園部町・天引)
委員 | 齊藤 進(八木町・刑部)
教育長 | 牧野 修(園部町・小桜町)

農業委員会委員(市議会選出)

委員 | 谷 義治(園部町・仁江)
委員 | 吉見 徳寛(八木町・玉ノ井)
委員 | 湯浅 敦(日吉町・木住)
委員 | 小中 昭(美山町・萱野)

南丹市職員人事異動

平成十八年四月一日付の南丹市職員の人事異動をお知らせします。()内は前職

〔課長補佐級〕

園部保育所所長補佐 森本

絹子(園部保育所係長)

八木中央保育所所長補佐 馬淵政

子(八木中央幼稚園園長補佐)

八木東幼児学園園長 前田照

美(園部保育所係長) 胡麻

保育所所長補佐 東厚子(興

風保育所所長補佐)
(係長級)

〔事業部〕

上水道課庶務係長 内藤一

広(下水道課庶務係長) 下

水道課庶務係長 早川忠(上

水道課庶務係長)

〔福祉部〕

園部保育所係長 岡島眞理

子(川辺保育所係長) 興風

保育所係長 桐三枝(興風保

育所主任) 園部保育所主任

山口雅世(八木東保育所主任)

〔教育委員会〕

八木中央幼稚園主任 小森

千恵子(八木中央保育所主任)

〔一般職員〕

〔総務部〕

総務財政課 足立忠範(新採)

三原大雅(新採)、企画情報

課 奈木野健次(新採)

〔福祉部〕

市民課 水口直樹(新採)

小川直人(新採) 出井香織

(新採)、健康課 富部孝佳

(新採)、福祉事務所 野中良

子(新採)

〔事業部〕

土木建築課 大狩輝芳(新採)

都市計画課 西野泉太郎(新

お世話になります (敬称略) 平成18年度の区長さん

園部支所

石橋 茂一 (宮町)
 犬石 秀夫 (上本町)
 藤原 茂一 (本町)
 中井 豊 (若松町)
 沖山 誠三 (新町)
 西山 進 (小山東町)
 横畑 脩平 (小山西町)
 松本 茂 (栄町)
 梅木 寧輔 (美園町)
 今西 儀夫 (小桜町)
 田中 博 (城南町)
 樋口 和満 (横田)
 木村 義一 (黒田)
 浅井 好孝 (上木崎町)
 川西 一男 (河原町)
 木村 明美 (木崎町)
 矢野 敬太郎 (内林町)
 大槻 一雄 (瓜生野)
 山内 巖 (熊崎)
 内藤 勤 (新堂)
 崎山 康治 (千妻)
 大家 富美夫 (普我谷)
 山田 康正 (船岡)
 高屋 剛 (高屋)
 片山 勝彦 (大戸)
 松本 博行 (熊原)
 高屋 了 (佐切)
 竹本 博行 (越方)
 小寺 重暉 (竹井)
 西村 昇 (仁江)
 井尻 勝 (船阪)
 平田 孝弘 (大西)
 小林 義博 (穴人)

八木支所

塩田 隆夫 (半田)
 藤田 等 (口人)
 西田 俊樹 (口司)
 中井 守 (殿谷)
 野々口 哲也 (殖生)
 田中 博人 (南八田)
 粉井 貞夫 (天引)
 大町 強 (法京)
 奥村 寿 (大河内)
 奥村 安治 (南大谷)
 加舎 孝雄 (若森)

上野 新吉 (本一)
 片山 金弥 (本二)
 湯浅 和也 (本三)
 青木 隆三 (本四)
 八木 勉 (本五)
 田中 茂 (本八)
 小森 久司 (栄一)
 福井 昇 (栄二)
 八木 秀 (栄三)
 小森 照男 (本郷東)
 波部 久紀 (本郷西)
 芝原 和幸 (本郷南)
 佐野 重信 (本郷北)
 鶴山 太郎 (垣内)
 八木 厚 (柴山)
 川勝 幸男 (青戸)
 谷口 英彦 (西田)
 大槻 善昭 (井ノ尻)
 麻田 一之 (観音寺)
 川勝 武彦 (屋賀)
 八木 真澄 (屋賀上)

日吉支所

大内 筆嗣 (北屋賀)
 人見 日出男 (氷所)
 八木 保男 (日置)
 川勝 和己 (刑部)
 宅間 義洋 (北広瀬)
 田村 明 (鳥羽)
 今西 隆司 (美里)
 仲 勝 (室河原)
 川見 育弘 (木原)
 西田 薫 (池ノ内)
 田村 浩 (玉ノ井)
 廣瀬 博之助 (八木嶋)
 片山 博明 (大藪)
 谷口 三郎 (折戸)
 廣瀬 彰久 (南広瀬)
 西村 良平 (船枝)
 今西 眞 (山室)
 橋本 治樹 (室橋)
 松本 利博 (諸畑)
 松本 晃 (野条)
 麻田 昌裕 (池上)
 大槻 左門 (神吉上)
 人見 範夫 (神吉下)
 松崎 忠嗣 (神吉和田)

山口 勝也 (殿田)
 湯浅 護 (木住)
 湯浅 勲 (生畑)
 中川 輝男 (中世木)
 藤井 博幸 (田原駅前)
 木村 富男 (片野)
 北浦 啓太郎 (片野団地)
 奥村 吉孝 (新シ)
 小山 満 (和田)
 廣嶋 静夫 (殿)
 加地 一郎 (四ツ谷)
 大道 芳夫 (佐々江)
 下村 光行 (下佐々江)

美山支所

中瀬 克彦 (中佐々江)
 山形 瀧雄 (上佐々江)
 大嶋 隆 (西胡麻)
 猪奥 勝 (西胡麻駅前)
 山下 澄雄 (栄ヶ丘)
 桂 正行 (角本)
 太田 雅晴 (中村)
 小崎 喜彦 (中野辺)
 野田 浩司朗 (新町)
 渡邊 利勝 (後野)
 近藤 聰 (日吉平)
 北村 逸次 (胡麻莊園)
 宇野 正明 (東胡麻)
 出野 清 (上胡麻)
 南 弥吉 (広野)
 谷口 泰夫 (畑郷)
 塩貝 友次 (上保野田)
 塩貝 克史 (下保野田)
 吉田 光穂 (志和賀)

渡辺 孝義 (南)
 勝山 直 (北)
 伊藤 智之 (中)
 名古 清 (河内谷)
 上澤 秀春 (下)
 笠谷 実 (知見)
 大野 光博 (江和)
 野口 義次 (田歌)
 石川 保志 (芦生)
 川村 明彦 (白石)
 勝山 賢一 (佐々里)
 井ノ辺 栄一 (又林)
 山内 陽士 (下平屋)
 中村 澤三 (上平屋)
 加藤 実 (安掛)
 東 満 (野添)
 菅井 均 (長尾)
 斎藤 順一郎 (深見)

中西 猛 (荒倉)
 古谷 善夫 (大内)
 外田 誠 (内久保)
 林 英夫 (原)
 中島 勲 (板橋)
 中島 照夫 (宮脇)
 菅井 正雄 (下吉田)
 山内 武 (島)
 前田 晴美 (長谷)
 安土 敦夫 (上司)
 大上 保 (和泉)
 平山 辰夫 (静原)
 山崎 美義 (今宮)
 小畑 薫 (栃原)
 中川 敦雄 (砂木)
 松本 昭浩 (棚)
 宮本 承和 (川合)
 神田 和行 (殿)
 竹内 進 (舟津)
 諫本 保 (松尾)
 柿迫 義昭 (神谷)
 岡本 勝弘 (名島)
 下田 弘 (洞)
 山本 勝 (田土)
 川勝 晃生 (上吉田)
 佐野 庄嗣 (林)
 松原 晋三 (庄田)
 田中 義 (脇)
 川勝 吉洋 (熊壁)
 土本 春男 (山森)
 水口 安男 (萱野)
 文字 登 (大野)
 大棚 均 (川谷)
 弓削 憲一 (岩江戸)
 藤原 忠司 (脇谷)
 戸本 義信 (小淵)
 福井 義昭 (向山)
 弓削 善弘 (榎原)
 河合 隆 (音海)

採)、農林商工課▽寺田利裕 (新採)

【園部支所】

健康福祉課▽藤林恭子 (園部支所地域総務課主事)▽高橋花奈 (新採)

【日吉支所】

健康福祉課▽松原亮二 (興風交流センター主事)

【美山支所】

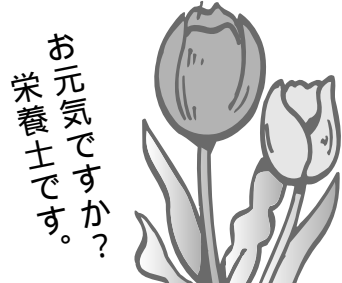
健康福祉課▽高屋和真 (新採) 園部保育所▽馬淵美賀 (川辺保育所)、城南保育所▽近澤真紀代 (鶴ヶ岡保育所)、八木中央幼稚園▽中嶋容子 (八木中央保育所)、日吉中央保育所▽井尻さとみ (胡麻保育所)、大野小学校▽波多野千恵美 (美山小学校給食共同調理場給食調理師)、美山小学校給食共同調理場▽山内栄子 (大野小学校)

【三月末退職者】

▽粟田千八栄 (日吉保育所所長)▽人見邦子 (八木東幼児学園園長)▽村山三千代 (日吉中央保育所係長)▽西村知笑 (八木中央保育所)▽森脇誠 (市民課)▽人見孝子 (教育委員会総括指導主事)

いきいき南丹

自分の適正体重を知り 栄養バランスのとれた食事を心がけましょう



中年男性の太りすぎが指摘される一方で、最近では若い女性のやせすぎが問題になってい

ます。無理なダイエットは身体機能を損ないます。自分の適正体重を知り、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。

『標準体重を体格指数で算出してみましょ』

例として、身長が一六〇詢の人の標準体重を算出すると、標準体重は約五十六キロとなります。(下図参照)基本的にこの標準体重以下に減量する必要はありません。しかし、多くの若い女性は「身長が一六〇詢で体重が五十六キロ」では太っていると感じるようです。実際に、ダイエットに熱心な若い女性のほとんどが標準体重、もしくはそれよりもやせていて、減量する

必要がない人たちののです。

若い女性であれば、スラッとしたスタイルですてきな服を格好よく着こなしたいという気持ちがあつて当然だと思えます。しかし無理なダイエットが原因で、月経不順をはじめとする女性機能のトラブルを起こしたり、将来、骨粗しょう症になつたりするかもしれないのです。やせることばかりに価値を置

標準体重を体格指数で算出する計算式

$$\text{標準体重 (kg)} = \frac{\text{身長 (m)}^2}{2.2}$$

き、身体機能の異常に無頓着というダイエット願望が危ぶまれています。

『無理なダイエットは避けましょ』

無理な減量をするとう女性の若さを保つエストロゲンというホルモンが減少します。このエストロゲンは骨からカルシウムがとけ出すのを防ぐという大事な働きを持っています。骨は普通、思春期ごろから本格的な形成が始まり、身体が成熟する十八歳から二十歳ごろに骨量もピークを迎えます。ですから、若いころにしっかりと骨量を蓄えておけば骨粗しょう症になる可能性は低くなります。しかし、骨を形成する思春期から十代後半にかけてエストロゲンが十分に分泌されないと、骨形成ができず骨量は増えないままになってしまいます。これが原因で、最大骨量が初めから少ない人は更年期を迎える頃にはさらに骨量が低下して、骨粗しょう症になることがほぼ確定してしまつて

『妊婦や成長期の子どもは十分な栄養を摂りましょ』

若い女性のやせ願望は妊娠中にも見られ、妊娠中にも太り

ここがPOINT!
1日の食事のながで

- 主食(ごはん、パン、麺類)
- 副菜(野菜、きのこ、いも、海藻料理)
- 主菜(肉、魚、卵、大豆料理)
- 牛乳、乳製品
- 果物

がそろっているか考えてバランスのとれた食事を心がけましょ

たかない」とダイエットをする妊婦が増えています。胎児期に母体からの栄養が不良であった場合、成人してから糖尿病や高血圧などの生活習慣病を発症しやすいという研究報告もありま

す。生まれた子どもが生涯にわたって健康に生きられるよう、妊娠中は安易にダイエットをせず、必要な栄養をきちんと摂取するようにましょ。最近では若い女性どころか、小学生までもがダイエットをしている実態があるようです。これから身体を作っていくかねばならない成長期にダイエットをするというのは非常に危険です。健康に問題があるような肥満の場合を除いては子どもに自己流のダイエットは必要ありません。子どもが健康を損なうことのないよう、周りの大人が注意ましょ。



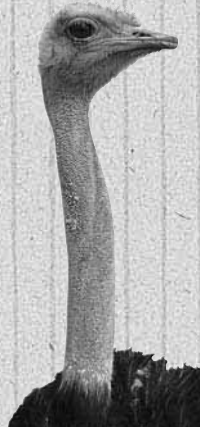
ひむろ さと ～ 南丹市八木農村環境公園 氷室の郷 ～

土の香り、大自然の恵みと体験の宝庫



五色のひし餅作り講習会の様子

煩雑とした日常から解放され、一面に広がるのどかな田園風景が続く。そこに現れたのは、トンガリ屋根と曲線で調和のとれた「氷室の郷」。広大な敷地内には、屋内多目的ホールと野外ステージの両方に使用できる『田園ホール』や、木工・陶芸や紙すき体験などが楽しめる『草木工房』、ソーセージ作りやそば打ち体験ができる『農食館』などがあり、中庭には心安らく芝生の広場があります。



馬田川に架かる小さな橋を渡った向こう側には、ダチョウたちが来園者を迎えてくれるふれあい広場や、美しい羽根が自慢のクジャク小屋があります。意外に大きくて迫力のあるダチョウには驚きましたが、カメラを向けるとポーズをとってくれました。

施設内の農園では、八木バイオエコロジセンターの「やぎバイオグリーン」(家畜ふん尿とおからを混ぜて作られた堆肥)を使用して有機野菜や果樹などが作られ、これらの安全な食材を使った弁当や食事、出来立てのパンなどは併設するレストランでご賞味いただけます。施設への入場は無料ですが、各種体験は有料で、事前に予約が必要ですので、詳しくは施設までお問い合わせください。

広い施設内を丁寧に案内していただいたのは、施設長の明田 卓さん。施設内では、生活排水を浄化してカモのいる庭の池に利用したり、太陽光発電の導入など、至る所で環境資源のリサイクルを考えた工夫がされているとのこと。「いろいろな体験プログラムを通して遊びの中で学び、豊富な自然に囲まれて地球に優しい環境への配慮を考える機会を持っていただきたい。暖くなるこれからの良い季節には、この施設でぜひご家族のふれあいと体験をしてください」

限りある資源を有効に利用する、新しい農村文化に出会える施設です。

ちりり実入り



施設長 明田 卓さん



施設全景

南丹市八木農村環境公園 氷室の郷

TEL 0771-43-1128

FAX 0771-43-2109

住所：南丹市八木町氷所赤見21-1

交通：国道9号線から八木駅前交差点を左折。大堰川を渡って左折し、つきあたりを右折。

月曜日定休。

千葉県浦安市で行われた「第7回全国中学生軟式野球全国大会」((社)少年軟式野球国際交流協会主催)において、園部少年野球クラブが、みごと準優勝に輝きました。また、中納克之君(園部中学校3年生)が優秀選手賞に選ばれました。

同クラブは8月18日からオーストラリアのシドニーで行われる「第6回Pan Pacific中学生軟式野球大会」へ日本代表として出場されます。

「軟式野球全国大会 準優勝でオーストラリアへGO!」

(3/28 軟式野球全国大会・浦安市)



オーストラリアでは優勝を目指します



春のお弁当が並びました

「腕自慢・味自慢 私のつくったお弁当」

(3/9 手作り弁当コンテスト・園部町)

3月9日、道の駅京都新光悦村において「お母さんの手作りあったか弁当コンテスト」(園部町つつじの会主催)が開催されました。南丹市内はもちろん、亀岡市や京丹波町から個人やグループの方の参加があり31点のお弁当が展覧されました。つくしやふきのとう、地元の食材でもある春菊や水菜などが使われ、調理方法も工夫された春らしい季節感が盛り込まれていました。その日のうちに審査が行われ、最優秀賞には南丹市園部町の水口ゆみさんが選ばれました。

みんなのひろば まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「学ぶ楽しさ、 生きる喜び」

(3/23 日吉福祉大学、紅が丘大学閉講式・日吉町)

合併以前の日吉町から生涯学習推進事業として継続されている、高齢者および女性を対象とした日吉福祉大学・紅が丘大学の閉講式が3月23日、日吉町生涯学習センターで行われました。平成17年度の受講生は、411人(福祉大学313人、紅が丘大学98人)。教養文化・人権・体育などの必須講座と選択講座のうち、必要単位数を受講した学生には修了証書、さらに積極的な参加をした受講生には精勤賞と鉢植えの花が、粟路学長から授与されました。

来賓の國府市長職務代理者は、「生きることは学ぶこと、生きることは知ること、知るとは喜び。学んだ知識を十分に生かし、各方面で一層のご活躍を期待します」と祝辞を述べました。閉講式終了後、天台宗藤井妙法僧侶を講師に迎えて、記念講演『人生90年～すばらしい人生を送るために～』が行われ、「自尊感情を大切に」との話に、受講生は熱心に聞き入っていました。

また、当日出席者に配られた冊子には、『思い出集』として受講生の一年間の感想や俳句・短歌がつづられていました。



粟路学長から精勤賞を受ける受講生

3月24日、平成17年度の美山山村留学センター「四季の里」の退所式が行われ、8人の児童が、1年間生活をした山村留学センターから巣立ちました。山村留学とは、小・中学生が一定期間親元を離れ、山村の留学センターや里親家庭で生活しながら現地の学校で学ぶもので、旧美山町では平成10年から知井小学校で山村留学制度がスタートし、今までに61人の児童が留学しました。

「いっぱい思い出できました」
 (3/24 山村留学センター退所式・美山町)



楽しかったこの一年間を忘れません

「楽しく学ぼう」「これが基本」
 (3/17 ひよし郷土料理教室・日吉町)

日吉町生涯学習センターでは、3月17日に文化教室「ひよし郷土料理教室(全8回)」が行われ、平成17年度実施の全11教室の最終日となりました。

この日は、壬生菜を使った巻き寿司とさば寿司が作られ、教室参加者は「これで家でも巻き寿司が作れる」「おいしいものを作って食べて、しゃべって、楽しいわ!」と、和やかに笑い声の絶えない雰囲気でした。

この文化教室では、参加者アンケートの希望に応じてさまざまな教室が行われ、自主サークル化や趣味作りの一助となっています。17年度は季節ごとのアレンジを楽しむプリザーブドフラワーアレンジメント教室や話し方教室なども実施されました。



料理は見た目も肝心、具を真ん中に

毎月第2土曜日の午後に「そのべおりがみ文化伝承会」が児童らを対象に折紙教室を行っています。文化庁から委託を受けた財団法人伝統文化活性化国民協会の伝統文化こども教室事業として、旧園部中央図書館が立ち上げました。折り紙の「折図」を読んで折ることで、図形を読む力を育ててもらおうのが狙いで、地元の小学生や保護者の方が参加しています。この日はカーネーションをみんなで作りました。

折紙教室への参加については、南丹市立中央図書館(電話:63-2980)で受け付けていますのでお問い合わせください。



作品を手に髭ハイ、ポーズ! 軻

「みんなで楽しく折り紙に挑戦」
 (3/11 折り紙教室・園部町)



賞状と記念品が贈られました

平成17年京都府スポーツ賞功労賞を麻田健治さん(八木町池上)が受賞されました。NPO法人八木町体育協会の会長として町内のスポーツ振興はもとより、町内体育施設の管理運営を行うなど、主体的に八木町における生涯スポーツの推進に寄与されています。また、南丹市体育協会の設立準備委員会会長としてもご活躍され、南丹市のスポーツ振興にも尽力されています。現在は財団法人京都府体育協会理事をされており、今後のご活躍に期待が寄せられています。

「スポーツ振興で功労賞を受賞」
 (2/28 京都府スポーツ賞)

なんたん歳時記

3



春日神社
子どもみこし巡行
八木町本郷地区

八木町本郷地区にある春日神社では、毎年四月十六日、子ども御輿みこしが出て、祭りを盛り上げます。

春日神社は平安時代の九三五年、この地の官領地支配役藤原重房公が先祖供養のため、春日四神を氏神として祭ったのが始まりといわれ、毎年秋には大祭が行われています。

昭和五十二年からは春祭りに子ども御輿の巡行が始まり、八木小学校の四年生から六年生までの男女が担ぎ手として集まります。お昼頃に神社を出発した二基の御輿は、「ワツシヨイ、ワツシヨイ」と威勢のいい掛け声を響かせながら、約四時間かけて町内を練り歩きます。南丹市に春を告げる祭りには、御輿を担いだ子どもたちが大人になって地元を離れていくときに、ふるさとの楽しい思い出として心に残るようにと、地域で祭りを支えている方たちの思いが込められています。



わが家のアイドル

園部町小桜町

ちくさ なみき
千種 直幹くん(3歳11カ月)
りく
理来ちゃん(1歳11カ月)

「子どもって「すごいつ」。どんどん食べて大きくな～れ」
(お父さん・お母さんより)

編集後記

陽春、うららか、霞たなびく、春眠暁を覚えず、花冷え、若葉萌ゆる。季節は春の装いから初夏への衣替えをしつつあります。南丹市が誕生してから早や四カ月。四月末には新市長が誕生します。『投票率過去最高で全国初!』そんなニュースを全国に発信できれば最高のスタートで、待ち遠しい季節の訪れですね。

(N)



総人口：36,176人(128)
(男：17,344人・女：18,832人)
(107) (21)
世帯数：13,281世帯(86)

(平成18年4月1日現在)
()内は前月比

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 総務部企画情報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL：0771-68-0003 FAX：0771-63-0653
URL：http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail：kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、古紙100%の再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。